

420) 穴あきズボン

或る冬の日、ふと気がつくともズボンに小さな穴が開いて、中から白いズボンの裏地が見えているではありませんか。あまりカッコ良くなかったので、私はその白いところにマジックインキを塗って、白いものが目立たなくなるように工夫しました。ところがそれから数日たった或る日、女房殿が私のモモヒキをたたみながら、この黒い汚れは一体なんだろうと独言をいいながら、箆箆にしまってるではありませんか。私がズボンの裏地と思っていたのは何のことはない、モモヒキだったのであります。